

OYSTER PERPETUAL
EXPLORER II



ROLEX

はじめてご使用になる際は

ロレックスをはじめてご使用になる際や、時計が止まった時には正確に動くようにゼンマイを巻く必要があります。

ゼンマイを巻くには、リューズを反時計回りに回し、ゆるめた状態で、リューズを時計回りに回します。

（逆に回してもゼンマイは巻かれません）

十分にゼンマイが巻きあがるよう、少なくとも25回転以上リューズを回してください。着用中は手首の動きによってゼンマイが自動的に巻かれます。

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んで元に戻してください。



お買い求めのロレックスについているグリーンのタグは、高精度クロノメーターであることを意味します。この独自の称号は、ムーブメントが COSC（スイス公認クロノメーター検査協会）による公式認定を受けており、さらにロレックスが自社内で行う一連の最終検査を通過したことを証明しています。クロノメーター精度及び、防水性能、自動巻、信頼性を独自に検査することにより、ロレックスは機械式腕時計の卓越性において新たな基準を打ち立てています。さらなる詳細は、[rolex.com](https://www.rolex.com)をご覧ください。



エクスプローラーII

オイスター パーペチュアル エクスプローラーII	4-5
昼夜の区別または第2タイムゾーンの時刻	6-7

操作方法

各部の名称	8-9
操作方法	10-21
イージーリンク	22-23

ロレックス アフターサービス

お手入れ方法	24-25
アフターサービス	26-27
ワールドワイドサービス	28

ROLEX.COM



ROLEX

OYSTER PERPETUAL DATE

EXPLORER II

28

SUPERLATIVE CHRONOMETER
OFFICIALLY CERTIFIED

オイスター パーペチュアル エクスプローラーⅡ

オイスター パーペチュアル エクスプローラーⅡは、真の探検家のための時計です。追加の針と目盛り入り固定ベゼルを用いた24時間表示により、着用者は午前と午後の区別や、第2タイムゾーンの時刻を読み取ることができます。42mmのケースは水深100m(330フィート)までの防水性能が保証されており、堅牢性の象徴となっています。視認性に優れたダイヤルは、暗闇でブルーの光を放つ長時間継続の発光素材が採用されたクロマライトのアワーマーカーと針を備えています。リューズはミドルケース一体型のリューズガードで保護されています。

3時位置にサイクロップレンズを搭載したサファイアクリスタルは耐傷性に優れます。

オイスター パーペチュアル エクスプローラーⅡはロレックスの完全自社製造による機械式自動巻ムーブメントを搭載しています。

オイスター パーペチュアル エクスプローラーⅡにはセーフティキャッチ付オイスターロッククラスプとイーゼーリンク（エクステンションリンク）を備えたオイスタープレスレットが採用されています。

昼夜の区別または第2タイムゾーンの時刻

エクスプローラーⅡの24時間針は、24時間でダイアルを一周し、目盛り入り固定ベゼルと組み合わせて使用されます。矢印の形をしたオレンジ色の24時間針により、地下や極地など、昼夜の区別が難しい場所や第2タイムゾーンの時刻を読み取る際に、24時間表示で時刻を確認できます。

エクスプローラーⅡは24時間表示で時刻を示す際24時間針が目盛り入りベゼルで表示するため着用者は昼夜を明確に区別することができます。一方で、時針と分針は時間と分を示します。

エクスプローラーⅡが2つのタイムゾーンの時刻を同時に表示する場合、ホームタイム(基準時刻)は24時間針により、目盛り入りベゼルで表示されローカルタイム(現地時刻)は、時針と分針で表示されます。

いずれの場合も、分は常に分針で表示されます。

各部の名称

- ① 時針
- ② 分針
- ③ 秒針
- ④ 24時間針
- ⑤ 日付表示
- ⑥ 24時間目盛り入り固定ベゼル
- ⑦ トウインロックリユーズ(二重密閉構造)



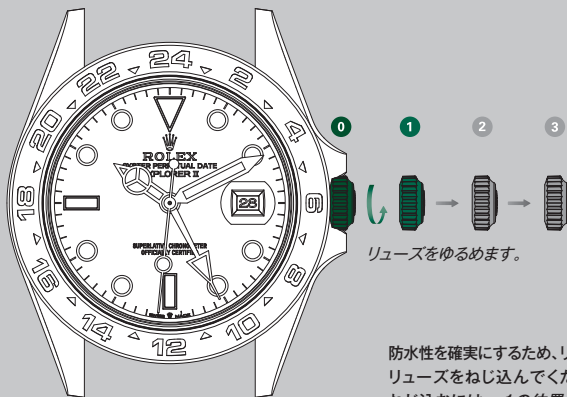
操作方法

リューズ位置 0

リューズが十分にねじ込まれている状態です。リューズがこの位置にあるときに、オイスターパーペチュアル エクスプローラーⅡは水深100m (330フィート) までの防水性能を保証します。

リューズ位置 1 – ゼンマイを巻く

リューズをゆるめます。ゼンマイを巻くには、リューズを時計回りに回します。逆に回しても、ゼンマイを巻くことはできません。はじめてご使用になる際や時計が止まった時には、少なくとも25回転以上リューズを回し、ゼンマイを巻きあげてください。



リューズをゆるめます。

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、1の位置 までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

昼夜の時間の区別

1. 24時間針の設定 (リューズ位置3)

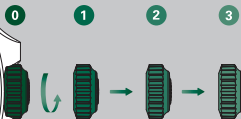
24時間針を設定するには、以下の順序で行います。

- リューズをゆるめ、2段階引き出します。
この位置では秒針が止まっているので
正確な時刻合わせが可能です。

- リューズをいずれかの方向に回し、ペゼルの
24時間目盛りで24時間針を、ダイアルの目盛り
で分針を合わせます。

24時間針を設定すると時針も動きます。そのため、
時針は必ず別に設定してください。
(ステップ2を参照)。

ステップ2へ続く ➡



リューズをゆるめた後、外側に引出します。

※24時間表示による時刻(昼夜を区別): 22:10

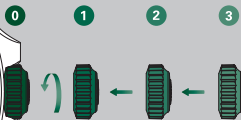
防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、1の位置 までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

2. 日付と時針の設定

(リューズ位置2)

日付と時針の設定は以下の手順で行います。

- リューズを1段階引き出します。
- リューズをいずれかの方向に回し、日付を設定します。時針は1時間ずつ進みます。時針をどちらの方向に回しても、時針がダイヤルを2周して深夜12時を過ぎると日付が変わります。
- リューズをいずれかの方向に回し、時針を設定します。時針は1時間ずつ進みます。午前と午後の違いに注意してください(時針が深夜12時を過ぎると日付が変わります)。
- リューズをケースに押し込みながら、ねじ込んでください。



ケースに押し込みながら、ねじ込む

※時針と分針による時刻：午前10時10分
24時間表示による時刻（昼夜を区別）：22:10

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、1の位置 までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

デュアルタイムゾーン機能

1. ホームタイム(基準時刻)の設定 (リュース位置3)

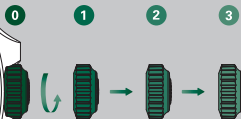
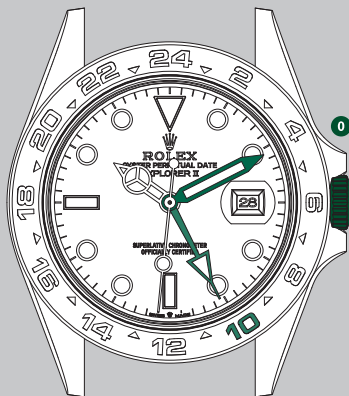
ホームタイムの設定は以下の手順で行います。

- リュースをゆるめ、2段階引き出します。
この位置では秒針が止まっているので
正確な時刻合わせが可能です。

- リュースをいずれかの方向に回し、ベゼルの
目盛りで24時間針を、ダイアルの目盛りで
分針を合わせ、ホームタイムを設定します。

ホームタイムをセットすると、時針(ローカルタイム)
も動きます。そのため、ホームタイムは必ずローカル
タイムを設定する前にセットしてください。
(ステップ2参照)。

ステップ2へ続く ➡



リューズをゆるめた後、外側に引出します。

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、1の位置 までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

※24時間表示によるホームタイム(ジュネーブ): 10:10

2. 日付とローカルタイム(現地時刻)の設定 (リュース位置2)

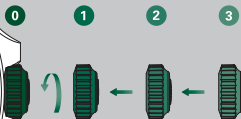
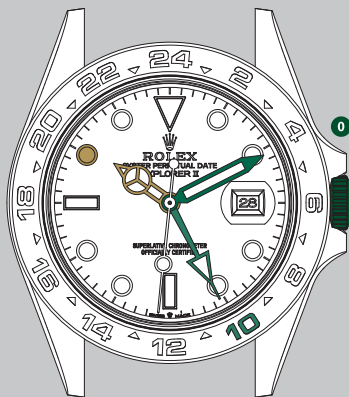
日付とローカルタイムの設定は以下の手順で行います。

- リュースを1段階引き出します。
- リュースをいずれかの方向に回し、日付を設定します。時針は1時間ずつ進みます。時針をどちらの方向に回しても、時針がダイヤルを2周して深夜12時を過ぎると日付が変わります。

- リュースをいずれかの方向に回し、ローカルタイムを設定します。時針は1時間ずつ進みます。午前と午後の違いに注意してください(時針が深夜12時を過ぎると日付が変わります)。
- リュースをケースに押し込みながら、ねじ込んでください。

ホームタイムのタイムゾーンにいる時は、ローカルタイムとホームタイム(24時間針)を一致させておくと、旅行の際に容易に時刻調整ができます。

20ページを参照 →



ケースに押し込みながら、ねじ込む

※時針と分針によるローカルタイム (ジュネーブ) :
午前10時10分

24時間表示によるホームタイム (ジュネーブ) :
10:10

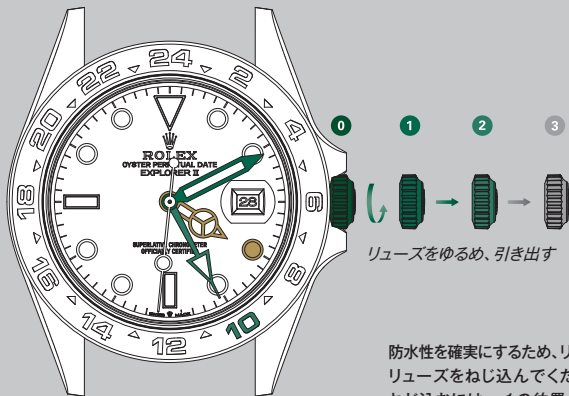
防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分に
リューズをねじ込んでください。リューズをケースに
ねじ込むには、1の位置 までリューズを戻してくだ
さい。その後リューズをケースに押し込みながら、時計
回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズ
の操作は絶対にしないでください。

ローカルタイムの変更 (リュース位置2)

ローカルタイムのみ(24時間針によるホームタイムは変えずに)を調整するには、以下の手順で行います。

－ リュースをゆるめ、1段階引き出します。

- － リュースをいずれかの方向に回し、ローカルタイムを設定します。時針は1時間ずつ進みます。日付はローカルタイムに連動し、時針が深夜12時を過ぎると自動的に変わります。
- － リュースをケースに押し込みながら、最後までねじ込んでください。



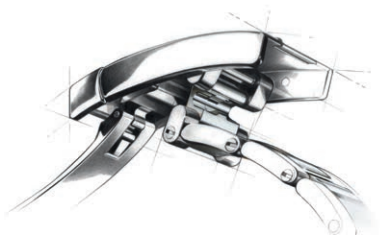
※時針と分針によるローカルタイム (ニューヨーク) :
午前4時10分

24時間表示によるホームタイム (ジュネーブ) :
10:10

リューズをゆるめ、引き出す

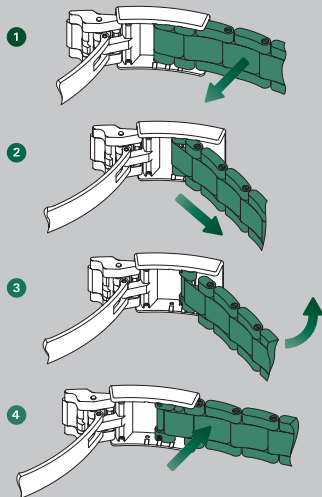
防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、1の位置 までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

イージーリンク

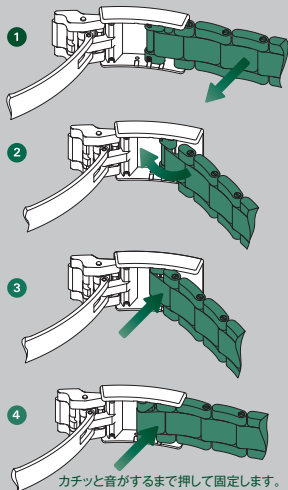


時計を快適に着用していただけるようにロレックスはイージーリンク(エクステンションリンク)を開発しました。独自の設計によりリンクを引き出したり、折りたたんだりして工具などを使わずにブレスレットの長さを約5mm調節することができます。

短い状態から長い状態にする場合



長い状態から短い状態にする場合



カチッと音がするまで押して固定します。

お手入れ方法

日々の簡単なお手入れによってご愛用のロレックスをより良い状態に保つことができます。

必要に応じて、柔らかい布(マイクロファイバークロス等)で拭いてください。ケースやブレスレットを柔らかいブラシと石鹸水で洗うことも可能です。また、海でご使用の後には、真水で海水や砂をよく洗い流してください。

お手入れの際は、防水性を確実にするために
リュースが最後までねじ込まれていることを
ご確認の上、行ってください。

アフターサービス

お客様の時計が精度と信頼性、防水性能において最適な性能を保ち、その特有の輝きを維持するために、ロレックスでは万全のアフターサービス体制を整えています。

ロレックス ウォッチのムーブメントが正しく機能し正確に時を刻むことができるのは、ロレックスが特別に開発した高性能な潤滑油が使用されているためです。潤滑油の特性は通常、時間の経過とともに劣化し、ムーブメントの精度に影響を与える可能性があります。

また、時計の防水性能を確認するためには厳しい技術的な検査を行うことが重要です。

こうした理由から、ロレックスでは定期的なオーバーホールをお薦めしております。オーバーホールはロレックス正規品販売店またはロレックス サービスセンターで受け付けており、ロレックスの時計技術者が承ります。

オーバーホールでは、ケース、ブレスレット、ムーブメントといった全ての構成部品が分解され入念に検査されます。

ムーブメントは完全に分解され、すべての部品が綿密に点検されます。ロレックスの品質基準を満たしていない部品は新しい部品に交換されます。ムーブメントは再度組み立てられる際に注油されます。ケースとブレスレットは本来の仕上げに従って、ポリッシュ仕上げまたはサテン仕上げが施され、傷などが取り除かれ、輝きと光沢を取り戻します。

最後の工程で、時計の機能、防水性能、パワーリザーブおよびムーブメントの精度を確認するために一連の検査が行われます。

オーバーホールを終えた時計には、サービス保証書が発行されます。

ワールドワイドサービス

ロレックスの正規品販売店とサービスセンターは世界100カ国以上にネットワークを広げ、ロレックスのサービスセンターにはトレーニングを受けた熟練の時計技術者がいます。

ロレックス正規品販売店では、ブレスレットのサイズ調整やオーバーホールなど、時計の機能やアフターサービスに関するご相談を承っております。

ロレックスの正規品販売店およびサービスカウンター、サービスセンターについては **rolex.com** でご確認ください。

ROLEX.COM

rolex.com では時計の機能や品質、ロレックスの技術、ブランドの価値観などをご紹介します。

ようこそ、ロレックスの世界へ。

Rolex reserves the right to modify the models illustrated in this publication at any time.

© Rolex SA, 3-5-7, rue François-Dussaud, 1211 Geneva 26, Switzerland
IMR-EXII-JA-21 - 4.2021

[rolex.com](https://www.rolex.com)

